第 2 期

中川町災害時備蓄計画

令和 4 年 12 月

（令和7年8月修正）

中川町

空白

1　本計画の位置づけ

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、地震の規模がマグニチュード 9.0、最大震度 7 で、日本観測史上最大の地震でした。さらに、この地震に伴う福島第一原子力発電所の事故は、甚大は被害を広範囲にもたらし、各種ライフラインの寸断、高速道路、鉄道及び港湾等の都市基盤施設にも大きな被害をもたらしました。

また、平成 27 年 9 月 9 日から 11 日にかけて発生した関東・東北豪雨においては、鬼怒川の堤防決壊及び越水が発生し、全半壊家屋 5,000 棟以上という甚大な被害が発生しました。

なお、中川町においても、令和4年 8 月 11 日未明に発生した地震は、震度 5 弱及び震度 5 強の大きな地震で中川町観測史上最大の地震でした。

これらの経験からも、国や道、市町村だけでなく、警察、消防、自衛隊等の防災関係機関に大きな脅威を与え、住宅や施設の耐震化整備、避難所等の整備、食糧及び資機材の備蓄等を含め、各種災害に備える教訓となり、さらなる対策と強化を進める必要性が高くなっています。

本町においては、令和 4 年 3 月に地域防災計画を全面改定しているところですが、災害対策における備蓄体制を整備するためにも、個別計画として中川町災害時備蓄計画を策定するものです。

2　基本的な考え方

災害発生時は、被災地域における流通機能が停止し、町外からの救援物資が届きにくい状態になることが懸念されることから、「自らの身の安全は自ら守る」という防災の基本に鑑み、町民は日頃から、被災直後に必要な物資を備えておくことが必要です。

しかし、災害発生時には、多数の避難者及び負傷者の発生が予想されます。このため、町は、町民自らが非常用持出品として食糧品等の備蓄をすることを基本とし、町においては避難生活に必要な物資及び資機材を備蓄します。

上記の考え方に基づき、町が行う行政備蓄に関する計画を具体化するものであり、計画期間は、令和4年度から令和8年度までの 5 カ年とします。

【参考】

〇家庭内備蓄

家庭内備蓄とは、町民が自らの家庭において 3 日分以上の食糧や飲料水の備蓄を行う等、日頃から災害時に必要な物資を備えておくことをいいます。災害時には被災地域における流通機能が停止するなど、外部からの救援物資が届きにくい状態になることが想定されることから、各家庭における備蓄を促進していく必要があります。

〇流通在庫備蓄

流通在庫備蓄とは、町内の食料品店等の事業所から災害時に必要な物資を調達することをいいます。この流通在庫備蓄を活用していくことによって、行政備蓄の経費及び管理コストを削減し、町全体の備蓄体制の構築に努めるとともに、円滑な物資の調達体制を確保していきます。

〇行政備蓄

行政備蓄とは、町が平時から行う食糧等の備蓄をいいます。大規模な災害時には、多数の避難者及び負傷者が発生することが予想されることから、行政備蓄として避難生活に必要な物資及び資機材の備蓄を行うことが必要です。

3 行政備蓄の目標数量

行政備蓄の対象人口は、想定される最大規模の災害として、令和2年 12 月4日に北海道開発局旭川開発建設部が公表した「天塩川水系天塩川上流洪水浸水想定区域図（想定最大規模）」に基づき算定しました。

想定する最大避難者数の概数 1,200 人 720 世帯

「天塩川水系天塩川上流洪水浸水想定区域図（想定最大規模）」に示された浸水想定区域内すべての世帯を対象とします。

（1）目標数量

食糧及び飲料水の目標備蓄数量については、1,200 人 3 日分（1 人 3 食/日、1 人 3 リットル/日）とし、災害発生から 4 日目以降は、町外からの支援物資等により補うものとします。

飲料水については、アルファ米用等最小限の備蓄とし、中川町と株式会社中川水道とによる「災害時における応急対策業務に関する協定」に基づき、給水することとします。

【必要とする数量】

食 糧：1,200 人×9 食＝ 10,800 食

飲料水：1,200 人×9 リットル＝ 10,800 リットル（うち、5,400 リットルを備蓄）

【家庭内備蓄】

各種広報活動等により家庭内備蓄を奨励し、最大避難者 1,200 人のうち、30%にあたる 360 人が備蓄食糧等を持ち出せるものとします。

【流通在庫備蓄】

町内の食料品店等の事業所から有償で確保できる食糧品等を、最大避難者 1,200 人のうち、20%にあたる 240 人分とします。

【行政備蓄】

町が行う食糧品の備蓄目標数量は、最大避難者 1,200 人のうち、50%にあたる 600 人分とします（例外あり）。また一部の生活用品の備蓄目標数量については、最大避難者全員分もしくは最大避難世帯 720 世帯のうち半数にあたる 360 世帯分とします。

【全体備蓄数量】

備蓄区分	食糧数（食）	摘要
家庭内備蓄（30%）	3,240	360 人×3 食×3 日
流通在庫備蓄（20%）	2,160	240 人×3 食×3 日
行政備蓄（50%）	5,400	600 人×3 食×3 日
計	10,800	

【年齢及び性別区分ごとの対象人数】

区分	対象人数(人)	備蓄品目
最大避難者数	1,200	
0 歳	4	粉ミルク、液体ミルク、紙おむつ
1～2 歳	10	粉ミルク、液体ミルク、アルファ米(おかゆ)、紙おむつ
3～69 歳	1,015	アルファ米等
70 歳以上	171	アルファ米(おかゆ)等
女性(10～55 歳)	152	生理用ナプキン

※区分内訳は、令和4年 12 月 1 日現在の住民基本台帳人口に基づき算出。

4 備蓄品目

(1)食糧品

食糧品については、日常生活の主食に近い米飯を中心に備蓄を行います。

品目	摘要
粉ミルク・液体ミルク	乳幼児用として、アレルギー対応型の粉ミルク・液体ミルクとします。
アルファ米(おかゆ等)	幼児及び高齢者用として、アレルギー特定原材料等を含まないものとします。
アルファ米(五目ご飯等)	成人用として、アレルギー特定原材料等を含まないものとします。
飲料水 (生活用水)	ペットボトル型の飲料水及び非常用飲料水袋により、確保します。
長期保存パン	100g～70g
クッキー	8 枚入
その他非常食	非常食のバリエーション・栄養バランスの観点から、主食とは別の品目の非常食とし、600 人当たり 1 食をすべて行政で備蓄することとします。

（2）生活用品

避難所生活を送る際に必要となる生活用品を備蓄します。

品目	摘要
毛布	
アルミマット	
簡易ベッド	段ボール組立式
紙おむつ（乳幼児用）	
紙おむつ（大人用）	
生理用ナプキン	
タオル	
組み立て式簡易トイレ	仮設トイレと併用して使用します

（3）避難所用資機材

各避難所において行う避難所生活及び災害時応急対策活動等、避難所運営に必要となる防災資機材及び生活資機材を備蓄します。

品目	摘要
ポータブルストーブ（電源不要タイプ）	
カセットガス発電機	
簡易間仕切り	段ボール製・プラスチック製・テントタイプ
懐中電灯等照明器具	
カセットコンロ	
カセットガス	3 本セット （カセットコンロ、カセットガス発電機用）
特設公衆電話用電話機	停電時も使用できる災害時専用電話（発信専用）

5 備蓄目標

(1)食糧品

品目	対象	算出根拠	計算式(端数調整あり)	数量	保存期間
粉ミルク	0 歳	1 人 1 日 7 回×3 日分=63 キューブ	4 人×(63 キューブ)×50%=126 キューブ	26 ~~箱~~袋 (1 袋 5 キューブ)	1 年 6 カ月
粉ミルク	1～2 歳	1 人1日6回×3 日分=72 キューブ	10 人×(72 キューブ)×50%=360 キューブ	1 箱(60 袋/1 袋 5 キューブ)+30 袋	1 年 6 カ月
液体ミルク	0～1 歳	1 人 1 日 5 回×1 日分	4 人×5 缶×1 日分×50%	10 缶	1 年 6 カ月
液体ミルク	1～3 歳	1 人 1 日 5 回×1 日分	10 人×5 缶×1 日分×50%	25 缶	1 年 6 カ月
アルファ米(おかゆ)	1～2 歳	1 人当たり 1 食×3 日分	11 人×1 食×3 日×50%	15 食	5 年
アルファ米(五目ご飯等)	3～69 歳	1 人当たり 1 食×3 日分	1,015 人×1 食×3 日×50%	1,530 食	5 年
アルファ米(おかゆ)	70 歳以上	1 人当たり 1 食×3 日分	171 人×1 食×3 日×50%	255 食	5 年
飲料水	全員	1 人当たり 1 日 3L×3 日分	1,200 人×3L×3 日×50%	5,400L	10 年 R7 購入以降
長期保存パン	全員	1 人当たり 1 日 1 個×3 日分	1,200 人×1 個×3 日×50%	1,800 個	5 年
クッキー	全員	1 人当たり 1 日 1 箱(8枚入)×3 日分	1,200 人×1 箱×3 日×50%	1,800 箱	5 年
その他非常食	全員	1 人当たり1食	1,200 人×1食×50%	600 食	5 年

(2)生活用品

品目	対象	算出根拠	数量	使用期限
毛布	全員	1 人 1 枚	1,200 枚	−
アルミマット	全員	1 人 1 枚	1,200 枚	−
簡易ベッド	70 歳以上	1 人 1 台	171 台	−
紙おむつ (乳幼児用)	0～2 歳	1 人当たり 1 パック(S サイズ 82 枚、M サイズ 64 枚、L サイズ 54 枚) 1 人 1 日当たり 8 枚を目安とします	3 パック(各サイズ)	−
紙おむつ (大人用)	−	1 人当たり 1 パック(M サイズ 30 枚、L サイズ 26 枚) 1 人 1 日当たり 6 枚を目安とします	5 パック(各サイズ)	−
生理用ナプキン	10～55 歳の女性	1 人当たり 1 パック(15 個) 1 人 1 日当たり 8 個を目安とします	152 人×2 パック÷4×50%＝38 パック ≒40 パック	−
タオル	全員	1 人当たり 7 枚	1,200 人×7 枚×50%＝4,200 枚	−
組み立て式簡易トイレ	360 世帯	1 世帯当たり 1 個	360 個	−

(3)避難所用資機材

品目	算出根拠及び数量	使用期限
ポータブルストーブ (電源不要タイプ)	11 避難所　28 台 避難所の規模に応じて 1～5 台	-
カセットガス発電機	11 避難所　22 台	-
簡易間仕切り	体育館を有する 2 避難所　300 個	-
懐中電灯等照明器具	11 避難所　22 台	-
カセットコンロ	11 避難所　22 台	-
カセットガス	11 避難所　66 セット	7 年
特設公衆電話用電話機	13 避難所　13 台	-

※指定避難所 13 カ所のうち 11 カ所の開設を想定

6　備蓄計画

食糧品、生活用品及び避難所用資機材の備蓄計画については、下記のとおりとします。各備蓄品について、5 カ年で備蓄目標に達するように年次的に購入等の整備を行います。

(1)食糧品

保存期限は、5 年以上(水は 10 年以上)のものとし、1 年以内に保存期限を迎えるものについては、前年度から当該年度内に実施する防災訓練等で使用することとします。

(2)生活用品

避難所等において使用した場合または不足が生じると予想される場合は、随時補充します。

生活用水の確保及び飲料水確保量増大のため、非常用飲料水袋を準備します。(R8 以降、段階的に購入予定)

(3)避難所用資機材

備蓄目標に向けて年次的に購入等の整備を行います。

7　家庭内備蓄の推進

家庭内備蓄の意義及び必要性について、防災のしおり及び洪水ハザードマップ等の配布等を通じて、町民に対して啓発を行っていくこととします。

家庭内備蓄については、3 日分の食糧及び 1 人 1 日 3 リットル以上の飲料水の備蓄を呼びかけていくとともに、災害発生時等の避難が必要なときにすぐに持ち出せる場所に保管するようあわせて呼びかけていくこととします。

（1）家庭内備蓄の例

・飲料水（ペットボトルのものが望ましい）
・食糧品（火を通さなくても食べられるものが望ましい）
・救急薬品
・携帯ラジオ
・懐中電灯
・防寒具（防寒着、使い捨てカイロ等）

8　行政備蓄品の保管

食糧品等の備蓄品については、中川町役場庁舎、中川町生涯学習センター及び中川町防災倉庫に保管します。今後、災害発生時に避難者に対し速やかに必要な物資が適宜配分できるよう、各避難所に物資を分散して配備する環境を整備します。

備蓄品整備計画（※の食糧品は、3 日分セットの内容物です。セット内容：アルファ米 3 個、飲料水9L、長期保存パン 3 缶、クッキー3 箱）

分類		種別	規格	目標数量	単位	保存年限（年）	R4.11.30 現在	R4 計画	R5 計画	R6 計画	R7 計画	R8 計画
食糧品	一般住民（在宅避難者含む）	粉ミルク	0 カ月～1 歳 キューブ（27g×16 個）	1	箱	1.5	3	2	2	2	2	1
		粉ミルク	1～3 歳 キューブ（28g×16 個）	1	箱	1.5	5	5	5	5	5	1
		液体ミルク	0 カ月～1 歳	10	缶	1.5	0	0	6	6	10	10
		液体ミルク	1～3 歳	25	缶	1.5	0	0	18	18	25	25
		アルファ米（おかゆ）	100g	270	食	5	550	0	100	100	100	100
		アルファ米 （五目ご飯等）※	100g 食物アレルギー特定原材料 27 品目不使用	1,530	食	5	890	150	450	450	450	200
		飲料水※	500ml と 2L のペットボトル	5,400	L	5	2,886	450	1,350	1350	1350	100
		長期保存パン※	100～70g（尾西ひだまりパン等パック入り）	1,800	個	5	814	150	450	450	450	200
		米粉クッキー※	1 箱 8 枚入	1,800	箱	5	838	150	450	450	450	200
		その他非常食		600	食	5	0	0	400	400	400	200
	幼児センター	アルファ米 （白飯）	100g	50	食	5					50	0
		米粉パン	7年保存レトルト 100g（2本）	50	パック	7					50	0
		LLF 豚汁	180g	50	パック	5					50	0
		米粉クッキー	1 箱 8 枚入	50	箱	5					50	0
		LLF 肉じゃが	155g	50	パック	5					50	0
		野菜たっぷりカボチャスープ	160g	60	パック	5					60	0
		LLF 柔らかなポリタンスパゲッティ	200g	50	パック	5					50	0
		保存用ミレービスケット	100g/1 缶	48 缶	缶	5					48	0
		飲料水	2L	60	本	10					60	0

分類	種別	規格	目標数量	単位	保存年限（年）	R4.11.30 現在	R4 計画	R5 計画	R6 計画	R7 計画	R8 計画
生活用品	毛布	難燃性軽量フリース毛布	1,200	枚	－	1,200	0	0	0	0	0
	アルミ保温シート	1,800mm×900mm×3mm 発泡ポリエチレンシート＋アルミ蒸着フィルム	1,200	枚	－	1,900	0	0	0	0	0
	簡易ベッド	段ボール組立式	171	台	－	353	0	0	0	0	0
	紙おむつ（乳幼児用）	S サイズ 82 枚、M サイズ 64 枚、L サイズ 54 枚入	各サイズ 3	パック	－	各サイズ 3	各サイズ 3	0	0	各サイズ 3	0
	紙おむつ（大人用）	M～L サイズ 30 枚、L～LL サイズ 26 枚入	各サイズ 5	パック	－	各サイズ 5	各サイズ 5	0	0	各サイズ 5	0
	生理用ナプキン	15 個入	40	パック	－	30	15	0	0	15	0
	タオル	20 枚×10 パック	21	パック	－	8	0				0
	ポータブルストーブ	電源不要タイプ	30	台	－	22	0				0
	組み立て式簡易トイレ		360	個	－	0	0	120	120	120	0
	非常用飲料水袋	6L	1,000	袋	－						300

分類	種別	規格	目標数量	単位	保存年限（年）	R4.11.30 現在	R4 計画	R5 計画	R6 計画	R7 計画	R8 計画
避難所用資機材	カセットガス発電機	900VA	22	台	-	19	0				
	簡易間仕切り	段ボール製･プラスチック製含む	300	個	-	125	0				
	懐中電灯等照明器具	乾電池式 LED ランタン	22	個	-	29	0	0	0	0	0
	カセットコンロ	ケース付	22	台	-	12	0				
	カセットガス	3 本セット	66	セット	7	95	0	33	33	0	22
	特設公衆電話用電話機	電源不要タイプ	13	台	-	13	0	0	0	0	0